



3.11以降政府の暫定基準が定められましたが、市場に流通している食品の検査は、行なわれていないのが現状です。

内部被曝とは？

私たちは、どのように食を選べばいいの？

食の安全について、市民科学研究所代表の上田昌文さんに内部被曝の考え方、減らし方についてお話いただきます。

# 「3.11以降 食の安全は守れるか」

日時：11月26日(土) 13:00~16:00

参加費  
無料

場所：生活クラブ館 (小田急線経堂駅徒歩3分)  
東京都世田谷区宮坂3-13-13 地下1階 スペース1.2

① 基調講演 (質疑含む) …講師：上田昌文さん (NPO法人 市民科学研究所)

プロフィール

NPO法人市民科学研究所代表理事。1992年に市民による学習グループを発足させて、科学技術関連の社会問題への取り組みを開始。市民科学研究所は、月1回様々なテーマでの市民講座を開き、月刊の機関誌『市民科学』を発行するとともに、「電磁波」「生命操作」「ナノテクノロジー」「放射線」「食」といったテーマごとのグループが調査をすすめ、その成果をふまえて政策を提言したり、学校や自治体と連携して新しい活動を提起したりしている

② 生活クラブの放射能検査の考え方 …植田泉さん (生活クラブ副理事長 連合消費委員長)

③ 学校給食の放射能対策 …東京・生活者ネットワーク

◆コーディネーター：近藤恵津子さん (食農共育をすすめるNPO CSまちデザイン理事長)

CSまちデザイン企画予告

共催 生活クラブ生活協同組合

後援 生活クラブ運動グループ東京運営委員会

「子どもたちを放射能から守るために」連続講座 【1講座 1,500円・2講座 2,700円】

これから長きにわたって放射能と向き合っていかなければならない私たち。子どもたちの未来のために、少しでも安心して暮らせる社会をつくることは、子育て中の親だけでなく、全ての大人の責任です。放射能というリスクをどう受け止め、どう食べたらいいかを考える講座です。

● 「放射能というリスクを受け止めるには」

日時：12月3日(土) 10時半~12時半

場所：生活クラブ館203会議室 定員70名

講師：大村美香さん(朝日新聞社編集委員)

● 「放射能汚染と食生活を考える」

日時：12月12日(月) 10時半~12時半

場所：生活クラブ館地下スペース 定員70名

講師：境野米子さん (生活評論家、薬剤師)

※お申し込み：託児希望の方は、CSまちデザインまでお問合せ下さい。(03-5426-5212)

主催：生活クラブ運動グループ・東京運営委員会 (問い合わせ先) 生活クラブ理事会事務局 TEL:03(5426)5202

■生活クラブ生協・東京 ■東京・生活者ネットワーク ■東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合 ■NPO法人アピリティクラブたすけあい  
■社会福祉法人悠遊 ■東京コミュニティパワーバンク ■NPO法人コミュニティスクールまちデザイン ■環境まちづくりNPOエコメッセ  
■認定NPOまちぼっと ■農作業受託ネットワークNPO法人 たがやす ■生活クラブ運動グループ福祉協議会

ピアふえすた 参加申込書

※参加希望の方は、ご記入の上、上記の生活クラブ理事会事務局にFAX下さい。(03-5426-5203)

○をして ください	班・戸・デポー	組合員 コード		まち	
氏名		電話 番号		提出日	